

前期へ組版・タイポグラフィ論〉第1回・第2回 20170415

文字とは何か——伝達と表現

前田年昭 t-mae@kobe-du.ac.jp

組版は文字と言葉を排列する技芸であり、デザインの基礎です。

この授業では、和文組版の基本である組版演算を身につけ、紙の本だけでなくウェブや電子書籍の組版はどうあるべきかを自分で考える力を養うことを目標とします。

そのために授業では、組版にかかわる歴史の知識と考え方を知り、組版規則や道具に使われるのではなく組版規則や道具を使いこなせる力を身につけます。

言葉と文字の起こりを考える

伝達 伝えること

発信側 ↓ 受信側

← →

受信側 ↓ 発信側

表現 あらわすこと

人

←

特定の個人、仲間、集団、不特定多数の人……

論理 誤解、理解……

感情 喜び、怒り、悲しみ……

人は互いに誰が誰の代理も代弁もできない3

が、想うことによつて相手の心に触れることはできる3

顔のない街の中で／中島みゆき（作詞…中島みゆき、作曲…中島みゆき）

見知らぬ人の笑顔も 見知らぬ人の暮らしも

失われても泣かないだろう 見知らぬ人のことならば

ままにならない日々の怒りを 物に当たる幼な児のように

物も人も同じに扱ってしまふ 見知らぬ人のことならば

ならば見知れ見知らぬ人の命を 思い知るまで見知れ

顔のない街の中で 顔のない国の中で 顔のない世界の中で

見知らぬ人の痛みも 見知らぬ人の祈りも

気がかりにはならないだろう 見知らぬ人のことならば

ああ今日も暮らしの雨の中 くたびれて無口になった人々が

すれ違うまるで物と物のように 見知らぬ人のことならば

ならば見知れ見知らぬ人の命を 思い知るまで見知れ

顔のない街の中で 顔のない国の中で 顔のない世界の中で

ならば見知れ見知らぬ人の命を 思い知るまで見知れ

顔のない街の中で 顔のない国の中で 顔のない世界の中で

そつてまた歌い出す／ RHYMSTER (作詞：宇多丸・Mummy-D、作曲：DJ Watara)

今やもう「歌ってる場合じゃない」んだそうだ 悲惨な世界前にしてあなたは問う
「歌ってる場合じゃない」世相なのかも知れんと口ごもりただ戸惑う

確かにあの優しい旋律かき消すほどやかましい現実

飛び交う銃声と噂話に対してなんて無力な憂さ晴らし

要は無駄か？ この歌と言葉はどうも疑いがち利口なオトナは

だがオレに言わせりやだから出番大ケガ上等なバカだけが

でつかい賭けにまたいずれば勝つもしくはその日をいつまでだって待つ

先人たちのように背筋伸ばす古臭い悲観を全部吹き飛ばす

あなたこそ現にそうしてきたはずかつてオレを救った奇跡のヴァース

そのバトンを次の誰かに渡すチャンス信じてまた奮い立たすから

歌ってる場合ですよ3 どんな時代だってこの世に人がいる限り

歌ってる場合ですよ3 あなたも止めないさきつと声続く限り

あたらしいShoes 鼓膜にあたらしいBeats

路上にあたらしいFlyer 聴こえるあたらしい あたらしい音楽

あたらしいNews 鼓膜にあたらしいPain

心にあたらしいFire 産まれるあたらしい あたらしい音楽

今やもう「歌ってる場合じゃない」んだそうだが本当にそうかどうか己に問う
黙ってる場合じゃない口を閉じて

Okay, なら歌ってる場合じゃない時代にしか生まれない願いを詞に込めよう
つぶってる場合じゃない目を開いて

Hey, 何が見えた? 何が聴こえた? 何が無くなった?

人は怒りを歌わなくなった この馬鹿げた世界を笑わなくなった

Wait, 聴こえないか? しゃべりに近い新しい Blues (哀歌)

叫びに近いやかましい絵画休まず描いて描いて描いていくんだ
黒いインクで冴えた光を白い余白にたたずむ闇を

たとえそれがパイオニアたちの通った道のリフレインだとしても

歌ってる場合ですよ? そうあなたも歌ってる場合ですよ?

オレは今も歌ってる様子ですよ? そして明日も歌ってる予定です Yo?

あたらしい Shoes 鼓膜にあたらしい Beats

路上にあたらしい Flyer 聴こえるあたらしい あたらしい音楽

あたらしい News 鼓膜にあたらしい Pain

心にあたらしい Fire 産まれるあたらしい あたらしい音楽

そしてまた歌い出すそしてまた歌い出すそしてまた歌い出す……

組版とは文字を組む技芸である

どのような内容の印刷物であろうと、それを立派に組むことによつて民主主義社会を支える「すべての市民は、自由に発言し、記述し、印刷することができる」

——『人および市民の権利宣言』第一条、一七八九年、フランス
思想、心情は罰せられない

思想の自由を社会として保障するうえで重要なのが「印刷する権利」である

組版のアルチザン（フランス語で職人の意）であれ！

そのためにはまず、文字と言葉の志、気持ちを感じ、寄り添うこと
アーティストという幻想（？）を捨て、自分の進路を見つけて欲しい

組版は気合いと根性、体力である

必要なことは、編み物で目を数える労をいとわない実直さ、分からないことを分からないという正直さ、つねに振り返ってひとつひとつ覚えていく粘り強いスタイルである

※日本の書道が衰退したのは、心を離れて「お手本」として言葉を扱ったことも原因である

授業計画と成績評価

蔑視スケジュールを参照してください。

※毎回、筆記具以外に定規と電卓、カッターとカッターマットを持参すること

評価は、最終課題で提出する作品による。

